

## 第3学年3組 国語科学習指導案

令和5年11月21日(火)第5校時  
児童数 30名 3年3組教室  
指導者 岩室 智恵子

### 1 単元名・教材名

れいの書かれ方に気をつけて読み、それをいかして書こう(15時間扱い)  
「すがたを変える大豆」「食べ物のひみつを教えます」

### 2 研究主題との関わり

#### (1)研究主題

「多様な学びを生かした新しい学習活動の創造」  
～聞き合い、伝え合い、深く考える児童を目指して～

#### (2)仮説と手立て

**仮説1** 国語科の授業の中で自分の考えをもち、それを伝える支援を行うことで、自分の思いを伝え、そこから深く考えることができるだろう。

**仮説2** 話し合いを通して自分と友達のことを比べることで、より考えを深めることができるだろう。

【手立て①】 付箋を使い組み立てを考えさせることで自分の考えを明確にさせる。また、伝え合いの活動によって自分の考えを変えたり、変えなかったりすることで自分の考えをより深める。

【手立て②】 思考を整理できるワークシートの活用。

【手立て③】 国語コーナーの活用。

### 3 単元の目標

- (1) 比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し使うことができる。 【知識及び技能】(2) イ
- (2) 自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫することができる。 【思考力・判断力・表現力等】(1) ウ
- (3) 段落相互の関係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との関係などについてもとに捉えることができる。 【思考力・判断力・表現力等】C(1) ア
- (4) 幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付くことができる。 【知識及び技能】(3) オ

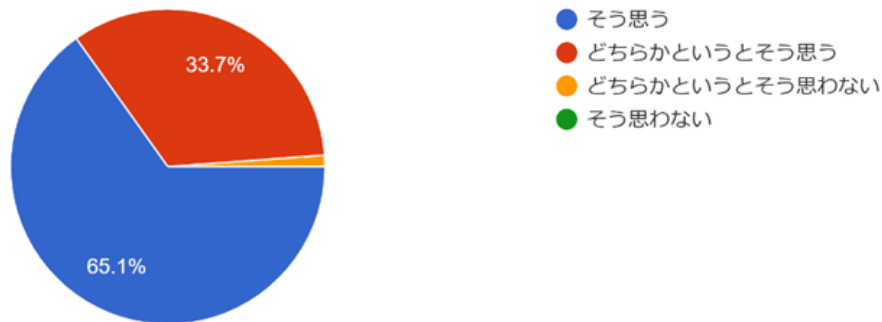
#### 4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
・比較や分類のしかた、辞書の使い方を理解し、使っている。 ((2) イ) ・幅広く読書に親しみ、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気付いている。 ((3) オ)	・「書くこと」において、自分の考えとそれを支える理由や事例との関係を明確にして、書き表し方を工夫している。(B(1)ウ) ・「読むこと」において、段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えている。(C(1)ア)	・積極的に説明される内容とそれを支える理由や事例との關係などについて叙述を基に捉えたり、それらを明確にして書き表し方を工夫したりしようとし、学習の見通しをもって、文章の説明の工夫を見つけてそれをいかして書こうとしている。

#### 5 単元について

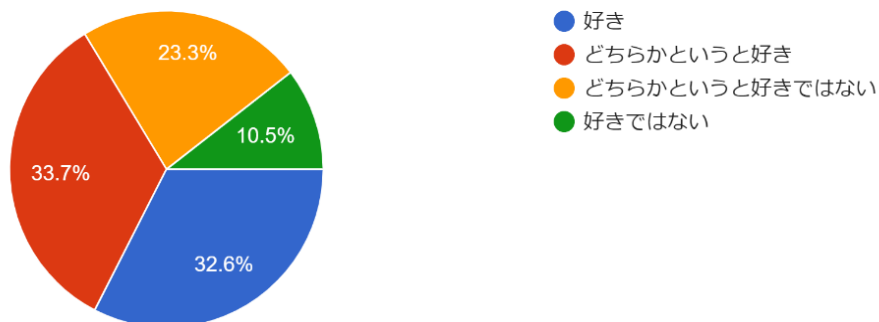
##### 2 自分の考えを公表することは大切だと思いますか。

86 件の回答



##### 4 学習で自分の考えを伝えるのは好きですか？

86 件の回答



#### (1) 児童の実態

本学級の児童は、1学期に「こまを楽しむ」の学習を通して段落の意味やその働き、また相互関係について学んできた。授業中の発言も多く、主体的に学ぼうとする姿勢も見られる。学習アンケートの結果から2「自分の考えを公表することが大切」だと感じている児童は6割を超えている。しかし、4「学習で自分の考えを

伝えるのは好きですか」の質問に対しては約4割の児童がどちらかというとき好きではない・好きではないと回答している。ここから自分の考えを公表することは大切だと感じつつも、発表することが苦手と難しいと感じている児童が多いことが分かった。そこで本単元では自分の考えをもち、それを伝える・共有することの大切さや心地よさを感じられるようにしていきたい。

## (2)教材観

本単元では、「すがたをかえる大豆」を読んで説明のしかたの工夫を理解する。それらを活用して、児童自らが人に伝えたいと思う食べ物について、説明する文章を書く。「すがたをかえる大豆」の筆者の工夫を児童自身が実際に使って、文章を書く経験をすることで、文章力の向上を図る。

1学期に学習した説明文「こまを楽しむ」では、「中」の事例が増えることで、終わりを強めることができることを学習した。また、「中」の事例の順番にも工夫がされており、こまの回る様子を楽しむものと、回す行為を楽しむものに分かれていた。

「すがたをかえる大豆」では、「こまを楽しむ」と同様に多くの事例が示されている。その事例の順序は、手の加え方が簡単なものから複雑なものへと順に並んでいる。段落相互の関係をしっかりととらえさせ、「中」の部分でもグループがあることに気付かせることが必要となる。このような文章構成を意識しながら、文章にまとめる学習活動に取り組ませたい。

## (3)指導観

1学期には「ことばで遊ぼう」「こまを楽しむ」で「はじめ・中・終わり」の構成で書かれた説明文の構成を学習しており、「はじめ」「中」「終わり」にはそれぞれどのような内容が書かれているかを学んできた。「すがたをかえる大豆」においてもそれぞれの内容について、また段落相互の関係について一つ一つ確認してきた。本単元ではすがたを変える大豆で学んだ文章構成を基にたべものひみつブックを書くために必要な情報を食べ物の本や資料を活用して集める。自分が選んだ食材はどんな食品に変身しているのかということについて、前時に多く出させることですがたをかえる大豆のように多くの食材がさまざまな食品になって私たちの食生活を支えていることを知る。本時では、その食品の仲間分けをグループごとにするすることで、さまざまな食品が作り方の違いや食べ方の違いで仲間分けできることを知る。その際、グループごとに付箋に食品を書き、模造紙上で付箋を動かすことでグループ内での話し合いを活発にし、一人ひとりが意図をもって自分の考えを伝えられるようにしたい。また、国語コーナーを活用し、授業の最初にこれまでの学びを振り返る。こうした手立てをとることで深く考える児童に迫りたい。

## 6 単元の指導計画・評価計画

時	学習のめあて	学習活動	評価の観点			・評価規準 (評価方法)
			知	思	主	
1	・学習課題を設定し、単元の見通しをもつことができる	・教師の範読を聞いておおまかな内容を捉える。 ・単元のめあてを確かめ、学習計画を立てる。			○	・文章のおおまかな内容を捉えるとともに、単元全体の流れを確認して学習の見通しを持っている。(発言・記述)
2	・段落の相互関係に着目して、文章を「初め」「中」	・文章全体の組み立てを知り、「初め」「中」「終わり」の内容や役割を捉える。	○			・「初め」「中」「終わり」の役割を捉え、各段落のまとまりに分類している(発言・記述)

	「終わり」の構成で捉え、それぞれの部分の役割とおおまかな内容を捉えることができる。				
3	<ul style="list-style-type: none"> <li>・国語辞典を活用して本文中の語句を調べて理解を深めるとともに、「初め」の書かれ方について考えをもつことができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わからない言葉の意味を調べる。</li> <li>・「初め」に隠された問いを考える。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・辞書の使い方を理解して本文中の語句を調べ、語彙を増やしている。(発言・記述)</li> <li>・「初め」の書かれ方を検討することで、文章全体の「中心」となる話題を確かめている。(発言・記述)</li> </ul>
4	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」のそれぞれの段落の内容を読み取ることができる。</li> <li>・筆者が一番伝えたいことを捉えることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「中」のそれぞれの段落の大事な文を確かめる。</li> <li>・「中」の段落の順序について考える。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「初め」とのつながりを考えて、各段落の大事な文を見つけている。(発言・記述)</li> <li>・接続後に着目して、事例の順序を確かめている。(発言・記述)</li> </ul>
5 6	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伝えたいことに説得力をもたせるために筆者が工夫したことを見つけることができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・筆者の説明の工夫を見つける。</li> </ul>		○	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習したことをいかして、筆者の工夫を見つけている。(発言・記述)</li> </ul>
7	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」の学習について振り返るとともに次の学習を見据え、科学</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「すがたをかえる大豆」の学習を振り返る。</li> <li>・「科学読み物での調べ方」を読んで、本を使った調べ方を理解する。</li> </ul>	○		<ul style="list-style-type: none"> <li>・他の本を読み、読書が必要な知識や情報を得ることに役立つことに気づいている。(発言・記述)</li> </ul>

	読み物での調べ方を確かめることができる。					
8	・作例における説明の工夫を確認して、今後の学習の見通しをもつことができる。	・作例を読み、どのような説明の工夫がされているのかを考える。 ・今後の学習計画を立てる。		○	○	・作例を読み、「すがたをかえる大豆」の説明の工夫と繋げて考えている。(発言・記述) ・説明する文章を書くまでの流れを理解し、進んで今後の学習計画を立てようとしている。(記述)
9	・文章を書く目的を意識して情報を収集する。	・調べたい材料を選ぶ。			○	・文章を書く目的を意識して、本などを活用して情報を収集している。(発言・記述)
⑩ 本時	・材料を比較したり分類したりして、整理することができる。	・調べた内容について整理する方法を知り、知っていることを書き出し、仲間分けする。		○		・調べることや伝えることを明確にして、仲間分けしている。(観察)
1 1	・分かりやすい文章の組み立てや例の書き方を理解し、友達と助言し合ってよりよい組み立てや例の書き方を考えることができる。	・組み立ての例と文章の例を参考に、文章の組み立てや例の書き方を考える。 ・考えた組み立てを友達と読み合い、気付いたところを助言し合う。	○			・学習した内容を振り返り、分かりやすい文章の組み立てや例の書き方を理解している。(発言・記述)
1 2 ・ 1 3	・選んだ食材について、事例を挙げながら表現を工夫して文章を書くことができる。	・文章の下書きをする。 ・書いた文章を読み返して、推敲し、清書する。		○		・適切な事例を選び、順序に気を付けながら、接続語を適切に使って文章を書いている。(記述) ・整理した情報を組み立てにまとめ、友達と助言し合って、組み立てや例の書き方がよりよくなるよう工夫している。(発言・記述)

14	・完成した文章を読み合い、書き方や内容の両面から、互いの文章の良いところについて伝え合うことができる。	・友達と文章を読み合い、感想や良いところを伝え合う。		○	・交流を通して、分かりやすい説明にするための工夫について理解を深めている。 (発言・記述) ・文章を読んだ感想を伝え合い、友達や自分の文章のよいところを見つけている。 (発言・記述)
15	・事例を挙げて分かりやすく説明するための工夫について振り返るとともに、今後の学習や日常生活にいかそうという思いをもつことができる。	・本単元で学習したことが今後どのように生かせるかを考え、話し合う。		○	・事例を挙げて、分かりやすい説明にするための工夫について、学習して分かったことや気付いたことをまとめている。 (発言・記述) ・これからの学習や生活に学んだことをどういかしていくかを考える。 (発言・記述)

## 7 本時の指導(10/15)

### (1)目標

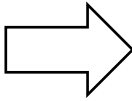
材料を比較したり分類したりして、整理することができる。

### (2)評価規準

調べることや伝えることを明確にして、仲間分けしている。【思考・判断・表現】

### (3)展開

学習活動	学習内容	指導上の留意点・評価	時間
1 国語コーナーで学びを振り返る。	○「初め・中・終わり」の文章構成の確認	・「こまを楽しむ」と同じ文章構成であることを国語コーナーで確認する。	3
2 本時のめあてを確認する。			4
<b>美味しく食べるための工夫を伝えるために選んだ食材を仲間分けしよう。</b>			
3 どんな食材を仲間分けするのか、確認し、発表する。 ・肉、魚、いも、とうもろこし、豆、牛乳、卵		・選んだ食材がどんな食品に変わっているのか、前時までに付箋に書かせておく。 ・伝え方の確認をする。 ・あらかじめ7つの食材に絞って	7

<p>4 大豆を例に仲間分けの仕方を確認する。</p> <div data-bbox="215 367 598 577" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・豆まきの豆 ・きなこ</li> <li>・に豆 ・枝豆</li> <li>・なっとう ・もやし</li> <li>・しょう油</li> </ul> </div>	<p>○調理方法による仲間分けの仕方</p> <div data-bbox="694 360 826 459" style="text-align: center;">  </div> <p>仲間分け</p>	<p>おき、仲間分けさせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・いくつか仲間分けした時の例を出す。</li> </ul> <div data-bbox="930 291 1345 589" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> <li>・そのまま食べる・豆まきの豆、に豆</li> <li>・混ぜる・かんそうする</li> <li>・漬す・焼く・きなこ</li> <li>・菌の力・なっとう、しょう油</li> <li>・時期・もやし</li> <li>・育て方・枝豆</li> </ul> </div>	<p>5</p>
<p>5 各グループに分かれ、それぞれの食材ごとに仲間分けしていく。</p>	<p>○選んだ食材の仲間分けの仕方</p> <div data-bbox="603 916 1399 1263" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>評価 【思考・判断・表現】</p> <p>(評価方法) 観察</p> <p>(C)の児童への手立て</p> <p>参加していない児童には、個別に声がけをして、黒板に掲示してある伝え方の方法を確認させ、自分の考えを伝えられるようにする。</p> <p>(A)の児童の姿</p> <p>どのように仲間分けしたのか、理由もつけて話したり模造紙に書いたりしている。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間分けしたときの名前はグループごとに考えさせる。</li> <li>・模造紙上に付箋を動かしながら仲間分けさせる。</li> <li>・なぜそう分けたのか、理由も伝えられるようにする。</li> </ul>	<p>15</p>
<p>6 いくつかのグループを選び、全体共有する。</p>	<p>○自分のグループの分け方との比較</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発表の仕方を確認する。</li> <li>・選んだグループがどのような理由で仲間分けしたのか、発表させ、自分達のグループはどう分けているのか、比較させる。</li> <li>・仲間分けを再開し、考えを変えてもよいことを伝える。</li> <li>・他のグループの発表から考えを変えたり変えなかったりしたことを発表させる。</li> </ul>	<p>5</p>

7本時のまとめをする。		3
仲間分けすると作り方や食べ方の工夫をわかりやすくまとめることができる。		
8本時の振り返りをする。		3
		<ul style="list-style-type: none"> <li>・本時の活動でどんなことを学んだのか、視点を明確にして振り返りを書かせる。</li> <li>・次回は順序を考えていくことを伝える。</li> </ul>

(4)板書計画

ふ

ま

仲間分けすると作り方や食べ方の工夫をわかりやすくまとめることができる。

十一月二十一日(火)

め

おいしく食べるための工夫を伝えるために選んだ食材を仲間分けしよう。

国語コーナー

<p>め 今日、学習すること</p> <p>ま 今日の学習の大切なポイント</p> <p>ふ 今日の学習で分かったこと</p> <p>できたこと</p> <p>うまくできなかったこと</p>	<p>すがたをかえる大豆</p> <p>おわり 中 はじめ</p>	<p>言葉と遊ぼう</p> <p>おわり 中 はじめ</p>
<p>伝え方</p> <p>私は</p> <p>僕は</p> <p>と考えました。</p> <p>理由は</p> <p>です。</p>	<p>こまと遊ぶ</p> <p>おわり 中 はじめ</p>	